

5.2 建築史・都市史分野

都市と建築の歴史を学び、それらが成立した社会的・文化的背景を把握することによって、歴史を学ぶことがいかに創造的な行為であるかを理解する。研究者、建築保存、建築設計、都市プランナーなどを志向。

	1年				2年				3年				4年				必修等						
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D							
外国語科目	英語1	英語2	英語3	英語4													必修 8単位						
基盤科目	数学1 物理I イタリア語・イタリア文化 スプリングセミナー AB期へ				中国語・中国文化 文化と文明 技術者倫理				地理空間分析基礎 文明と資源							必修 8単位							
専門科目 導入科目	デザインスタジオ1(建築)				建築のしくみ デザインスタジオ2(建築)				デザイン理論(建築)							必修 8単位							
専門科目 基礎科目					建築材料 部材の力学 骨組の力学 材料の力学 建築生理心理1 建築気候 構法スタジオ1 構法スタジオ2 設備入門				施工管理 建築法規(建築) 木造建築の構法				建築計画1 デザインスタジオ3 建築計画2 デザインスタジオ4 建築デザイン論1 デザインスタジオ5 建築デザイン論2 建築フォーラム 都市建築史スタジオ フィールドワーク(建築) 都市建築史 日本建築史 日本建築史実習				卒業研究1(建築) 卒業研究2(建築) 卒業制作1 卒業制作2				必修 20単位	必修 8単位	選択科目 28単位以上
専門科目 展開科目					この部分が主要な建築史・都市史分野の科目 西洋建築史 日本建築史																		

 : 学科必修科目
 : 資格認定推奨科目
 : 建築史・都市史分野推奨科目

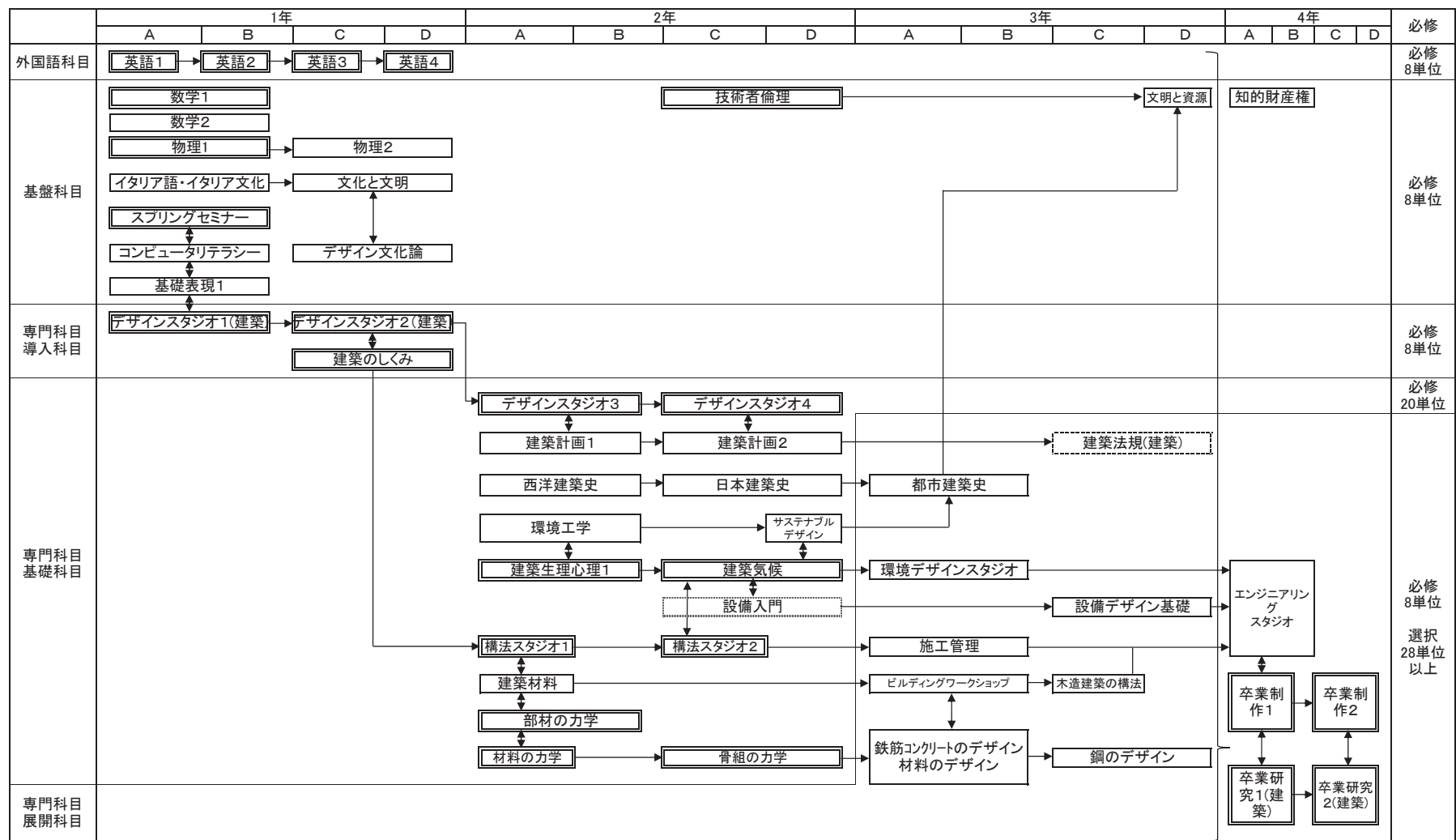
* 各年次履修科目登録上限49単位以内。必修52単位のほかに、専門科目展開科目の選択28単位以上。卒業所要単位124単位以上。

また、3年から4年への進級には、3年までのすべての必修科目44単位かつ合計90単位以上の取得済みが条件。

この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、卒業や資格の条件を満たすためのすべての科目は表記していない。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること。

5.5 建築構法・施工分野

建築物の構成方法について総合的な知識を有し、建築材料や施工方法の創意工夫を通して現代の社会的責任を果たすことのできる建築技術者を志向。



 : 学科必修科目
 : 資格認定推奨科目
 : 構法・施工分野推奨科目

* 各年次履修科目登録上限49単位以内。必修52単位のほかに、専門科目展開科目の選択28単位以上。卒業所要単位124単位以上。
 また、3年から4年への進級には、3年までのすべての必修科目44単位かつ合計90単位以上の取得済みが条件。
 この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、卒業や資格の条件を満たすためのすべての科目は表記していない。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること。

